

校 報



となん

岩手県立盛岡となん支援学校

矢巾町医大通二丁目1番5号 TEL019-601-2227

令和3年度 第5号 (通算第8号)

明るく 強く

発行日 令和3年12月24日

全国ボッチャ選抜甲子園 全国14位

東京パラリンピックで注目されたボッチャにも甲子園があります。昨年度に引き続き、今年度も出場しました。昨年より数倍難しい課題に、中学部を中心とした4名が4つの課題に取り組み、その映像を予選審査に提出しました。残念ながら昨年の9位から順位を下げてしまいましたが、全国14位と健闘してくれました。チーム一丸となって取り組む姿に感動しました。来年こそ決勝へ！期待しています。



菊池雄星特別賞受賞！

本県出身のメジャーリーガー菊池雄星選手とタイアップした「菊池雄星文化プロジェクト第54回岩手読書感想文コンクール」(岩手日報社、日報岩手書店会共催)で本校小学部3年生の藤村みのりさんが日報岩手書店会賞と菊池雄星特別賞をダブル受賞しました。以下はその感想文の抜粋です。

「助ける人になりたい」

岩手県立盛岡となん支援学校 三年 ふじ村 みのり

人それぞれ、好きなこと、苦手なことはちがうのかな。好きなことを知ったら、それをやってみたい。苦手なことを知ったら、なんで苦手なのかを知りたいな。そう考えながらこの本を読んだ。

わたしは文字を書くとき、長い時間えんぴつを持つことができない。

・・・中略・・・

自分で書くことが前は苦手だったけど、先生に書くりょうをへらしてもらったら、すきになってきた。苦手なことが好きなことに変わることもあるんだ。いつかは、自分ひとりで長い文章も書けるようになりたい。

苦手なことがあっても、大丈夫。身の回りの人が助けてくれるから。わたしは、車いすで生活をしているから、歩ける子がうらやましい。自分を変なのかなと思っていたけれど、先生に出会ってからはそんなことないんだと思えるようになった。先生や友だちが助けてくれたからだ。車いすのこぎ方を教えてもらったり、車いすをこぐのが大変なときは、おしてくれたりする。そうすると、い動ができる。だから、歩ける子をうらやましいと思うことはやめにしよう。

お母さんは、「歩けなくてもいい。」と言う。

じゃあ、わたしにできることは、何だろう。これまで、みんなに助けてもらったように、わたしも、みんなを助けることができる人になりたい。

とても素敵ですね。右の写真は、12月18日の授賞式でいただいた菊池雄星選手のサインボールを持つみのりさんです。本当におめでとうございます。

